

まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版

平成19年10月10日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



10月号
2007年
No.56

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

日本のタンカーに肉薄していた自爆テロの高速ボート! インド洋・海上自衛艦の給油活動は「日本の安全」を守る

今臨時国会の焦点のひとつである「テロ対策特別措置法」に関して、先日、こんな新聞記事を読みました。対テロ戦争の厳しい現実と日本の関係を象徴する事件だと思しますので紹介します。

2004年4月24日、ペルシャ湾のイラク・バスラ沖にある石油積み出しターミナルに3隻の小型高速ボートが急接近してきました。警戒中の多国籍軍の艦艇が発見して銃撃戦となり、1隻の高速ボートが大爆発を起こしました。タンカーを標的とした自爆テロは阻止されましたが、米海軍兵2人と沿岸警備隊員1人が犠牲になりました。

実はこのとき、1隻の高速ボートが、係留中の日本郵船の超大型タンカー「高鈴」(28万トン)に数百メートルまで迫っていたのです。幸いタンカーは船体を銃弾でえぐられ、鉄製のドアが吹き飛ばされただけで済んだのだそうです。



これが世界の対テロ戦争の最前線なのです。日本の海上自衛艦は、テロ対策特別措置法に従って、その後方のインド洋で多国籍軍の艦艇に給油を続けています。その活動を「無料のガソリンスタンド」などと揶揄する声がありますが、現実を見れば、日本の安全に直結する活動だということが分かるはずですよ。

そのテロ対策特別措置法が11月1日に期限切れになるのを前に、延長を望む国際世論が高まっています。9月19日、国連安全保障理事会は日本の給油活動に感謝する決議を賛成14カ国、棄権1カ国(ロシア)で可決しました。9月27日には11カ国の駐日大使が日本の給油活動に謝意を表し、その継続を求める共同声明を出しました。

「アメリカの言いなりになるな」と野党は言いますが、これでも給油活動の継続がアメリカの言いなりになるということなのではないでしょうか。間もなく、国会での議論が始まります。

皆さんには「日本の安全」のために今、何が必要なのか、を冷静に考えていただきたいと思います。

荻野アンナさんを招いて 「女性の集い」11月26日開催します



松本純女性連合後援会「すみれ会」は下記のとおり「松本純さんと女性の集い」を開きます。ぜひご参加ください。

- 日時 平成19年11月26日(月) 午後2時から
- 場所 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階「鳳翔」
- 会費 1,500円(紅茶とケーキを用意します)
- 講演 作家、荻野アンナさん
「荻野あんな話こんな話」

お問い合わせは、すみれ会事務局(松本純事務所)
電話045-241-7800へ

ご心配かけてすみません！NHKニュース報道について

NHKニュースの内容

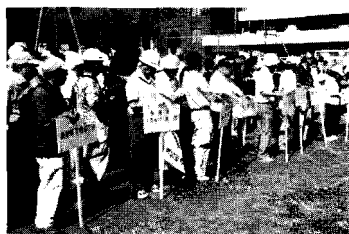
28日公開された去年の分の政治資金収支報告書によりますと、田中氏が代表を務める「自民党神奈川県第十選挙区支部」は、去年3月、東京千代田区にある大手信用保証会社「全国保証」と関連会社の「野村エステート・ファイナンス」からあわせ240万円の献金を受けていたことがわかりました。また、松本氏が代表を務める「自民党神奈川県第一選挙区支部」も去年、「全国保証」から240万円の寄付を受けていました。

これら2つの会社は、去年、東京国税局からそれぞれ1億2000万円余りと5000万円近くの所得隠しを指摘され、追徴課税の処分を受けましたが、献金したのは税務調査が行われていた期間中でした。田中徳和議員は財務副大臣や政務官を歴任していて献金については「もらった当時は税務調査が入っていることを知らず、このことで国税局に働きかけをしたことはない。問題ないと考えている」とコメントしています。一方、松本純議員は「長年献金を受けてきたが、指摘を受けて問題のある企業（期間）とわかったので速やかに返金したい」と話しています。

私の考え方

私が浪人していた頃から今年の3月まで長年にわたって献金を続けてくれていた会社が「全国保証」です。そこに昨年税務調査が入り、追徴課税の処分を受けたそうですが、私は個々企業の内部事情まで承知する立場にありませんでした。今日の朝方、NHK記者から連絡を受けて、税務調査の経過などの説明を受けました。そして「税金を払わない企業が、政治献金するのはおかしい」との指摘を受けたのですが、まさにその通りと思いました。法的には問題ありませんが、道義的な責任を私がどのように果たすかが問われたのです。これまでの経過・経緯を知った以上知らぬ顔はできません。そこで納税の不適切な処理をしていたとされる調査対象期間について、早速、寄付を返金することとしました。既に振込み処理は終了しましたので、来週月曜日には会社に返金されます。

ご心配かけて済みません。常に政治資金の適正処理を心がけている私にとって今回のご指摘はありがたいことと思っています。
平成19年9月28日 松本 純



▲9/9 中区防災訓練／第一中部地区
連合町内会の皆さんが大活躍です。



▲9/9 金沢区瀬ヶ崎西部町内会館
で恒例の敬老会に伺いました。



▲9/14 中区お三の宮お祭り「日枝
神社例大祭」の成功を祈って



▲9/30 50周年を迎えられた中区
鍼灸マッサージ師会、太田会長と。

永田町日記

総裁選での麻生票「197票」をバックボーンに！

安倍総理の突然の辞任を受けて行われた自民党総裁選は、福田康夫330票、麻生太郎197票で福田さんが選ばれ、国会での首班指名を得て総理大臣に就任しました。私は選挙戦の間、ほとんど麻生さんと行動をともにしていました。そこで直接肌で感じたのは、麻生さんに対する国民の皆さんの熱い期待でした。麻生さんと秋葉原のオタクたちとの“共闘”は昨年9月の総裁選で一挙に有名になりましたが、今回はネットを通じて結集した麻生応援団の若者たちが、どの街頭演説会場をも埋め尽くしました。

渋谷、大阪、高松、仙台……。特に自民党本部前で総裁選を終えて出てきた麻生さんを待ち受けて麻生コールを送り続けた300人を越すネットの応援団の皆さんの姿には、思わず目頭が熱くなりました。皆さん、ありがとうございました。

麻生さんが獲得した議員票132票、地方票65票は、そんな皆さんの思いが反映したものだと確信しています。それは、麻生さんにとっても、私自身にとっても、今後の政治活動のバックボーンになるでしょう。そんな思いを胸に、私は再始動した福田自民党の副幹事長として、これからの難局に全力を傾けようと考えています。(純)

街頭演説会でお会いしましょう

松本純は月曜日～金曜日の午前7時から8時まで、JR・京急線の各駅で街頭演説会を行っています。六浦、金沢八景、金沢文庫、能見台、富岡、洋光台、杉田、新杉田、屏風ヶ浦、磯子、根岸、山手の各駅の順で繰り返します。雨天と政務のある日は休みます。その日の会場はホームページ(「松本純」で検索)をご覧ください。

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成7年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。